



★今月号のラインナップ

1. [ひろば](#)

「地道な日々を取組の充実を」

教育次長 笠原千俊

2. [特集](#)

「平成 26 年度長野県教育委員会予算と主な施策について」

教育総務課

3. [ご存知ですか](#)

長野県中学生期のスポーツ活動指針

スポーツ課

4. [今、学校では](#)

「松川高校演劇部『ちいさいタネ』全国大会出場へ」

松川高校演劇部

5. [イベント情報・お知らせ](#)

6. [あとかき](#)

地道な日々の取組の充実を

教育次長 笠原千俊

先日、若い教員からもらった手紙に、先生方に学びながら共に授業づくりに励んでいきたいと書かれていました。私は、県の教育を巡る多くの課題の解決には、教員が、授業づくりのような、子どものための誠実で地道な日々の取組を充実させていくことが欠かせないと思っています。

一年半ほど前に故人となられた中村勘三郎さん（S30～H24.12.没）は、二人の息子、勘九郎さん、七之助さんに、歌舞伎の基本を徹底して身につけるよう厳しい稽古を行ったそうです。そこに勘三郎さんの次の言葉につながります。「型のある人が型を破るから“型破り”なのであり、型のない人が新しいことをやっても、それは“形なし”である」。

同じように、囲碁の井山裕太本因坊・名人（六冠）が、江戸時代の古典的な棋譜の研究も含め、先達の実戦に多く学んでおられることも知られています。

こうした道を究めようとする方たちの姿は、自分が拠って立つ基礎・基本の大切さと、基礎・基本は絶え間ない修練によってこそ確かになるということを教えてくれます。

生きる道はそれぞれですが、子どもの育ちにかかわる先生方には、学校が、子どもたち、保護者、地域そして県民の皆様からの信頼を深めていくことができるよう、一人一人が日々の研修を一層充実させ、それぞれの基礎・基本をさらに確かにしていかれることを心から願っています。

（参考 「ニューモラル」 526号）



平成 26 年度長野県教育委員会予算と主な施策について 教育総務課

教育委員会所管の平成 26 年度当初予算の総額は、1,879 億 6,052 万 8 千円で、県予算全体の 22.1% を占めており、県予算の中で最も大きな割合を占めています。児童生徒の減少に伴う教職員の減少などによる人件費の減の一方、高等学校の再編整備や耐震化に伴う改築、特別支援学校の教室増設などによる建設費の増、高校授業料無償化の制度見直しなどにより、前年度に比べ 17 億 5,607 万 2 千円の増、対前年度比 100.9% となっています。

以下、施策の体系に沿って、主要な事業について説明します。(施策体系に合わせたため、リンク先の主要事業一覧とは、異なる事業があります。また、4 月 1 日の知事部局の組織改正に伴い山岳遭難防止等の業務が移管されるため、予算額が変更となります。)

<知・徳・体が調和し、社会的に自立した人間の育成>

【未来を切り拓く学力の育成】

◆ 「未来を拓く学力」の向上事業

【439 万 7 千円】

児童生徒の学力向上を図るため、学力の習得状況を確認し、着実に力をつけるシステムを確立するとともに、家庭と一体となって家庭学習を改善します。

㊦ 学力実態を把握する仕組みの構築（P 調査・C 調査、クリア問題・チャレンジ問題等の体系的見直し等による）

㊦ 中学生の学力を向上させる新たな家庭学習モデルの創出

◆ 情報通信技術（ICT）を活用した確かな学力育成事業

【5 億 5116 万 1 千円】

ICT を効果的に活用し、児童生徒の学力や情報活用能力の向上を図るため、先駆的モデル的な実践研究や教員の指導力向上研修を実施するとともに、県立高校において必要な基盤整備を進めます。

特別支援学校においては、教育環境の充実を図るため、タブレット端末を整備します。

㊦ ICT を活用した先駆的モデル的な実践研究

パイロット校 青木村立青木小学校、箕輪町立箕輪中学校

モデル校 須坂商業高校、長野工業高校、諏訪清陵高校

【高校教育の充実】

◆ ㊦ 信州自然エネルギー・環境教育支援事業

【200 万円】

高等学校等の自然エネルギー・環境に関する教育の充実を図るため、知事部局と連携し、環境教育・研究活動に関する取組を広く募り、優秀な取組を支援するとともに、その成果を普及します。

・高等学校等の環境教育に係る設備、教材の費用を助成

【信州に根ざし世界に通じる人材の育成】

◆ グローバル人材育成事業

【2億3050万2千円】

信州に根ざし、世界に通じる人材を育成するため、児童生徒に世界で活躍するために求められる発信力やコミュニケーション能力を向上させるための取組を実施します。

- ⑧スーパーグローバルハイスクール指定校の運営
- ・高校生の留学（8人）、海外研修（50人）を支援

【豊かな心と健やかな身体の育成】

◆⑧中学生期における適切なスポーツ活動の推進

心身の成長過程にある中学生期のスポーツ活動等が適切で効果的な活動として実施されるよう、「長野県中学生期のスポーツ活動指針」に基づく学校等の取組を推進します。

◆ 学校・家庭・地域全体で取り組む食育推進事業

【134万9千円】

子どもたちに正しい食事のとり方や望ましい食習慣を身に付けさせ、心身ともに健全な発達を促すため、家庭、地域との連携のもと、学校における食育を一層推進します。

- ・栄養教諭の配置拡充（60人→90人）
- ⑧「朝ごはんを食べよう、いっしょに食べよう」食育キャンペーン
- ⑧第9回食育推進全国大会への参画

【安全・安心・信頼の学校づくり】

◆ 信州型コミュニティスクール創造事業

【757万7千円】

学校と県民の協働による地域に開かれた信頼される学校づくりを推進するため、保護者や地域住民が学校運営に参画し、学習支援や教育環境の整備などの教育活動を支援する「信州型コミュニティスクール」を推進します。

- ・モデル市町村 5市町村

◆ 教員の資質向上・教育制度改善事業

【190万4千円】

平成25年7月に策定した「信州教育の信頼回復に向けた行動計画」に基づく施策を実行し、教育再生に向けた取組を推進します。

- ⑧「コンプライアンスアドバイザー」（仮称）の設置
- ⑧教職員及び学校の評価制度改善の実施
- ⑧教職員の通報・相談窓口の整備

◆ 活用方法選択型教員配置事業（選択型こまやか教育プラン）

【47億5320万円】

小・中学校や市町村教育委員会の判断で活用方法を選択できる教員配置を行うことにより、児童生徒一人ひとりに応じたきめ細かい支援・指導を行い、学習習慣の確立と基礎学力の定着を図ります。

◆⑧少子・人口減少社会に対応した活力ある学校づくりへの支援

本格的な少子・人口減少社会が到来する中、子どもたちにとって望ましい教育環境を提供するため、

県の支援プランに基づき、市町村が取り組む活力ある新たな学校づくりに対し、教員配置や助言・情報提供等による支援を行います。

- ・中核教員（4人）の配置 佐久穂町、松川町、筑北村

◆**⑧長野県高等学校将来像検討事業**

【210万1千円】

更なる少子化や社会情勢の変化を踏まえ、平成30年以降の高等学校の将来像について有識者会議を設置し検討します。

◆**⑨高等学校等奨学給付金給付事業**

【2億5389万8千円】

公立高等学校等に在籍する低所得世帯の生徒の授業料以外の教育費負担を軽減するため、国の制度を活用し給付金を支給します。（平成26年度入学生から学年進行で実施）

◆**⑩県内大学等奨学金給付事業**

【750万円】

意欲や能力が高いにもかかわらず、経済的な理由で大学・短大への進学が困難な生徒を支援するため、県内の大学・短大に進学する者に（30人程度）対して大学入学金等に相当する一時金（上限30万円）を給付します。

＜多様性を認め、共に生きる社会の実現＞

【すべての子どもの学びを保障する支援】

◆ **生徒指導推進事業**

【2億1708万3千円】

いじめ、不登校等生徒指導上の諸問題に対し、未然防止や早期発見・早期対応を行うため、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの配置など必要な支援・相談体制を整備します。

特に、いじめ対策については、現在策定中の長野県いじめ防止等のための基本的な方針に基づき、地域の実情に応じた取組を展開します。

⑧いじめ問題対策連絡協議会の設置

- ・県立高校を対象とした学校ネットパトロール

◆ **特別支援教育充実事業**

【2億205万6千円】

特別支援学校や小・中学校における特別支援教育の専門性や教師の支援力の向上を図り、障がいのある児童生徒の自立と社会参加に向けた力の育成に努めます。

(1) 自立活動担当教員の充実

特別支援学校における障がい特性に応じた専門的な教育の充実やセンター的機能の充実のため自立活動担当教員を20人増員します。

(2) 専門職員の配置

特別支援学校における学習面及び生活場面における児童生徒に対する自立指導の充実を図るため、専門的な知識・技能を有する外部人材を活用します。

⑨学校介助職員の配置 20人

- ・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士による実践指導

(3) LD 等通級指導教室の増設

小学校に在籍する一部特別な支援を必要とする児童への教育の場の保障のため、通級指導教室を増設します。

- ・LD 等通級指導教室の増設（13 教室→18 教室）

「一人ひとりの学びが生きる教育立県「信州」の創造」をめざし、学校においては教師がしっかりと子どもたちと向き合うことができるよう、また学校、家庭、地域の連携等を通じて社会全体の教育力が向上するよう施策を推進します。

◇ 平成 26 年度当初予算の概要について

<http://www.pref.nagano.lg.jp/kyoiku/kyoiku02/gyose/zenpan/yosan/h26.html>

[目次に
戻る](#)

◆お問い合わせ◆

教育総務課経理係

TEL 026-235-7422

FAX 026-235-7487

E-mail kyoiku@pref.nagano.lg.jp

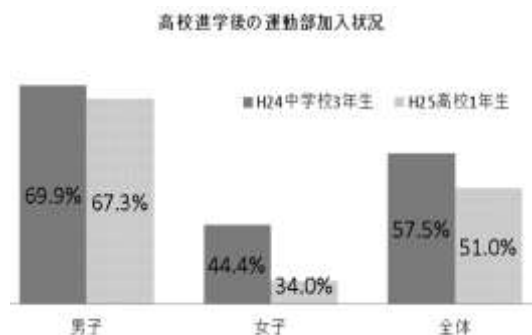
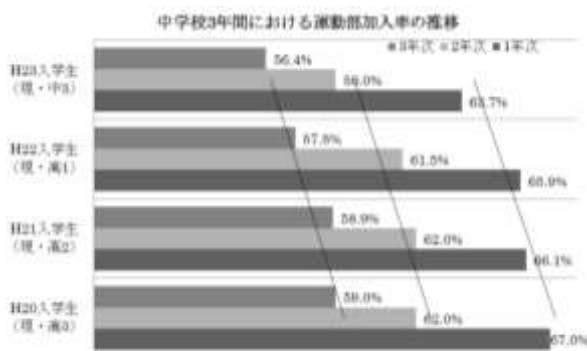
1 本県の中学生期のスポーツ活動の現状における課題

運動部の加入率が全国と比べて低く、運動離れが懸念

運動部や地域のスポーツクラブの所属状況（中学校2年生）

	本県の所属率（全国順位） [抽出率 95.6%]	全国平均 [抽出率 95.6%]
男子	85.1%（36位）	85.4%
女子	54.9%（44位）	60.4%
平均	70.0%（43位）	72.9%

学年が進むにつれ加入率が減少。高校進学後は、さらに減少



全国平均より低い体力・運動能力。中学女子は、全国の下位に位置する

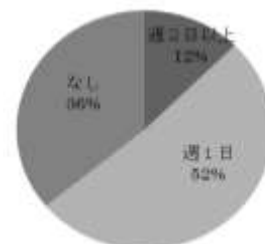
本県と全国の体力合計点の比較

	小5男子	小5女子	中2男子	中2女子	平均
本県(a)	54.07 (19位)	54.35 (30位)	41.87 (24位)	47.01 (39位)	49.32 (29位)
全国(b)	53.87	54.70	41.78	48.42	49.69
(a-b)	+0.20	-0.35	+0.09	-1.41	-0.37

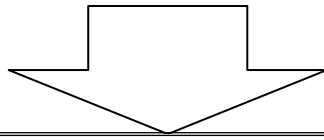
「運動部活動の延長として行われている社会体育」は、万が一の場合の責任の所在が曖昧。

また、一部の過熱化する活動により、生徒や家庭の負担の増加、学習や睡眠時間への影響、家庭生活とのバランスを欠いている。

運動部活動と社会体育活動を合わせた時の1週間における完全休養日



(平成25年度 スポーツ課調査)



いま、中学生期のスポーツ活動のあり方について手立てを講じなければ、体力や競技力の向上、運動実施率などの生涯スポーツにおいて、将来に大きな影響を与えかねない。

2 県教育委員会が目指す中学生期のスポーツ活動の姿

～ 心身の成長過程にある中学生期のスポーツ活動をさらに発展させていくために ～

① 運動好きな生徒の増加

(運動部の加入率の向上)

② 生涯にわたってスポーツに親しむ習慣の形成

(スポーツ傷害や燃え尽き症候群等の防止)

3 長野県中学生期のスポーツ活動指針の位置付けと概要

【位置付け】

- 「運動部活動」と「運動部活動の延長にある社会体育」に適用
- 各学校では、校長の責任のもと、スポーツ活動運営委員会と連携・協働し、指針を踏まえた活動を実施
- 地域において実施されている中学生期の「社会体育活動」等は、指針の趣旨を踏まえた活動を

【指針の概要】

- 運動部活動の運営体制と運営の充実
 - ・校長の責任のもと、学校組織全体で活動を運営。生徒の思いを踏まえた活動目標等の設定。
- 運動部活動の指導の充実
 - ・生徒との対話を通じ、達成感や満足感が味わえる個に応じた指導。
 - ・中学生期だけでなく次のステージへ、生涯にわたるスポーツ活動へと繋げる指導。
- 運動部活動の活動基準
 - ・平日に1日、土日曜に1日の休養日を設ける。
 - ・平日の総活動時間は、2時間程度までとし、長くても3時間以内にする。
 - ・休日の練習は、午前、午後にわたらない。
 - ・放課後の活動時間の確保に努め、朝の運動部活動は原則として行わない。

ただし、放課後の活動が行えず、練習時間が確保できない場合には、生徒の健康や生活リズム等を考慮し、生徒や保護者に対して十分な説明と理解を得た上で、朝の活動を実施する

- 「運動部活動の延長として行われている社会体育活動」について
 - ・学校管理下で行う運動部活動に一本化していく。
 - ・生徒がより高い水準に挑みたい場合には、既存の地域の社会体育活動に参加。
 - ・市町村教委、郡市体育協会、地域のスポーツ指導者等と連携し、新たな「地域スポーツ団体」等の設立。
- スポーツ活動運営委員会の機能の充実
 - ・運動部活動の充実のために目標や方針等を踏まえた部活動の運営について検討。
- 県教育委員会及び市町村教育委員会の役割
(県教委) 市町村教育委員会、校長会、中学校体育連盟や関係機関団体等と連携した活動の充実。
(市町村教委) 各中学校区にスポーツ活動運営委員会を設置。各中学校に助言、指導。
- 地域の社会体育活動
 - ・中学生の多様なニーズに応じて、生涯スポーツにつながるスポーツ機会として重要な役割を担う。
 - ・中学生の心身の成長につながるよう、適切な活動に結び付けていくことを求める。
- 小学生期のスポーツ活動
 - ・多様な運動経験と楽しさから、運動・スポーツへの興味・関心を高める時期。
- 成長期にある中学生期のスポーツ活動を実施する上で留意すべき視点

長野県中学生期のスポーツ活動指針について、さらに詳しく知りたい方は、下記のアドレスからご覧ください。

<http://www.pref.nagano.lg.jp/kyoiku/sports-ka/shishin-.html>

[目次に戻る](#)

◆お問い合わせ◆
スポーツ課
Tel 026-235-7448
Fax 026-235-7476
E-mail sports-ka@pref.nagano.lg.jp

「松川高校演劇部『ちいさいタネ』全国大会出場へ」

松川高校演劇部（顧問 仲村晴子）

平成 26 年 2 月 1 日（土）～2 日（日）栃木県那須塩原市黒磯文化会館において第 49 回関東高等学校演劇研究大会が開催されました。

松川高校演劇部は長野県代表として出場しました。黒瀬貴之作「エリック・カール原作、ゆあさふみえ訳より ちいさいタネ」を上演しました。



松川高校が関東大会に進んだのは初めてのことで、常連校のレベルの高い演技の中で優秀賞・全国大会推薦をいただくことができました。松川高校に演劇部が発足して 6 年、演劇専門の顧問もいない中、このような結果をいただくことができたのは地区大会や県大会で講師の先生方からの様々なアドバイスを謙虚に受け取め、更に良いものを求めて練習に励んだ賜物ではないかと思えます。演技はもちろんのこと、化粧・衣装・広島弁・舞台美術などすべてやりきっているという講評をいただきました。広島弁は広島の高校生に直接指導していただきました。舞台美術も美術科の先生のご指導のもと、出かける直前まで手を加え細部までこだわって完成しました。関東大会の舞台では照明によって更に見ごたえのあるものになり、演劇が総合芸術と言われる所以がよくわかりました。初めての関東大会で自分たちが作り上げた舞台を松川高校らしく演じようとした「チーム松川」の努力がこの結果につながっているのだと思えます。



生徒たちは「生きること」「命の大切さ」「戦争を忘れない」という三つテーマを劇を通じて伝えようと、何度も繰り返しの納得出来る演技をしようと真剣に取り組んでいました。

私が特に印象に残っているのは、この劇を同じ学校に通う松川高校の生徒にもぜひ見て欲しいという思いが叶い、12月5日県文化センターにおいて平和教育の一環として全校鑑賞会が実現したことです。全校の生徒が真剣に見てくれました。

そして、多くの生徒が「感動して涙が出た」と言ってくれました。戦後 60 年経っても、それは過去のことではなく生徒が伝えたかったことは同世代の高校生にもしっかり伝えることができたのだと思えました。

3ヶ月間の練習の中で様々なプレッシャーで体調を崩したり、部内の雰囲気が悪くなったりしたこともありましたが、しかし、10人の誰ひとり欠けることができない状況でした。関東大会では生徒たちは初めてだったからこそ、緊張もなくのびのびと役に集中できたのだと思えます。

生徒にとっても、私にとっても貴重な体験でした。

松川高校同窓会・PTA・教職員、演劇部卒業生、地域の方々等、本当にたくさんの方々に応援していただきました。「全国大会出場」が決まった時、我が事のように喜んでくださった方が大勢いました。こんなにも人の心の暖かさに触れることができたのもこの「ちいさいタネ」が運んできてくれた気がして、この劇のもつ偉大さに感動しています。

4月から新しいメンバーで演じる「ちいさいタネ」がまた多くの人に感動を与えてくれることを願っています。



[目次に
戻る](#)

◆お問い合わせ◆
松川高等学校
Tel 0265-37-2011
Fax 0265-37-3173
E-mail mtka-hs@nagano-c.ed.jp

イベント情報・お知らせ

★長野県立高等学校通信制課程 4 月入学生を募集します ★

長野西高等学校と松本筑摩高等学校では、4月からの通信制課程の生徒を募集します。

志願資格は、中学校を卒業した方又はこの春卒業見込みの方で、高等学校を退学した方の編入もできます。いずれも学力検査は行いません。

入学願書の受付は3月31日（月）まで。

詳しくは、長野西高等学校又は松本筑摩高等学校まで、直接お問い合わせください。

○ 入学願書の受付期間

平成26年3月3日（月）～ 3月31日（月） 午後5時まで

○ お問い合わせ先

- ・長野西高等学校通信制（東北信にお住まいの方）
電話 026-234-2262
- ・松本筑摩高等学校通信制（中南信にお住まいの方）
電話 0263-47-1526

■ お問い合わせ
高校教育課 管理係
TEL : 026-235-7430
FAX : 026-235-7488
E-mail : koko@pref.nagano.lg.jp

◆[新しい信州ブランド戦略の「キャッチフレーズ&ロゴマーク」と「スローガン」をご活用ください。](#)

あとがき

平成 25 年度最後のメールマガジンをお届けします。

ようやく春めいた陽気になってまいりました。

私事ですが、私が教育委員会事務局に配属されて、早 1 年が経とうとしています。

学校や教育委員会等における様々な取り組みを掲載していただき、また、実際に現地をレポートさせていただいて、沢山の人の熱意で長野県の教育現場が支えられていることを実感しました。

1 年間つつがなく、メールマガジンを発行できたのも、ご愛読いただいている皆様、原稿をお寄せいただいた皆様のおかげです。

ありがとうございました。

(か)

[目次に
戻る](#)